

平成 2 9 年度

第 2 回加賀市地域公共交通会議

第 2 回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

議事録

日 時 平成 29 年 11 月 15 日 (水)

午後 2 時～午後 3 時 30 分

場 所 加賀市市民会館 第 13 会議室

平成 29 年度
第 2 回加賀市地域公共交通会議
第 2 回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

日 時 平成 29 年 11 月 15 日（水）
午後 2 時～午後 3 時 30 分
場 所 加賀市市民会館 第 13 会議室

1 開会

事務局

それでは、平成 29 年度第 2 回加賀市地域公共交通会議、第 2 回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会を開催します。本日は、お忙しい中、本会議へご出席いただき、誠にありがとうございます。

2 委員紹介

事務局

まず始めに、委員の交代がありましたのでご報告いたします。
（新委員紹介）

3 会議成立報告

事務局

それでは、会議の成立報告を申し上げます。

本日の会議の出欠状況については、3 名の委員が欠席であります。過半数に達する出席となっておりますので、加賀市地域公共交通会議設置要綱第 7 条第 3 項及び加賀市地域公共交通活性化・再生協議会規約第 7 条第 3 項に基づき、本日の会議は成立していることをご報告します。

それでは、この後の進行については、近藤会長にお願いしたいと思います。

4 報告

【報告(1) KAGA あんしんネットの利用状況について】

会長

今年度 2 回目の会議です。KAGA あんしんネットが定着しつつあり、その進化を実感しています。

まず、報告についてです。1 つ目の報告は、「KAGA あんしんネットの利用状況について」です。皆さまと利用状況を共有することで、利用促進や問題点の解決について協議したいと思います。事務局より説明をお願いします。

事務局

資料 1 ページをご覧ください。

まず、路線バスの利用状況についてです。加賀温泉バスが運行する 5 路線について、平成 27 年度からの推移を記載しています。平成 27 年度は、北陸新幹線金沢開業の影響もあり、年間で

432,944人、1ヶ月平均で36,079人の利用がありました。平成28年度は、4月の加賀温泉駅前での加賀市医療センター開院に伴い、山代大聖寺線以外の4路線が若干の運行経路の変更をし、加賀市医療センターへ乗り入れたことにより、通院手段として機能しています。特に温泉片山津線が昨年度比で27.1%、温泉大聖寺線が26.9%の増加となっています。ただ、輸送人員の最も多い温泉山中線については、北陸新幹線金沢開業や加賀市医療センター開院の効果があまり見られない状況であり、年々減少傾向にあります。今年度の全体の1ヶ月平均の輸送人員は、33,347人で、昨年度比で約5%の減少となっています。しかし、温泉片山津線と吉崎線については、10%強の増加となっており、通院手段のみならず、高齢者を中心とした外出手段としても機能しています。例年の傾向では、上半期よりも下半期の方が利用が多いため、今年度も下半期は、上半期以上の利用が見込めると思います。

続きまして、キャンパス動橋・橋立循環線についてです。こちらは、加賀市医療センターから動橋方面へ帰るための移動手段、また高校生の通学手段として、平成27年度から運行を開始しました。平成28年度までは、加賀市医療センターへ行くために朝1便、帰るために昼と夕方にそれぞれ1便を運行していました。朝便は1ヶ月平均145人、昼便は46人、夕便は50人と利用は低調でした。この利用状況を踏まえて、今年度より、高校生の通学に特化した運用に見直しました。朝便は、上半期計1,987人、1ヶ月平均331人で昨年度比2倍以上の伸びとなっています。また、昼便を廃止し代わりに夜便を新設しました。部活をしない学生のための夕便は昨年度比で74%の伸びとなっています。部活をする学生のための夜便は1ヶ月平均76人の利用があり、合計で昨年度比2倍強の伸びとなっています。沿線の大聖寺高校と大聖寺実業高校と協力しながら、周知を強化しています。

続きまして、「のりあい号」についてです。平成27年10月より運行を開始しております。平成27年度については、錦城中学校と橋立中学校校下のエリア①は、1ヶ月平均で199人の利用がありました。橋立地区では、以前より地区で乗合タクシーを運行しており、この利用者が市の乗合タクシーに移行したため他のエリアより利用が多くなっています。片山津中学校と東和中学校校下のエリア②は、1ヶ月平均で26人と利用は低調でした。山代中学校と山中中学校校下のエリア③は、勅使・東谷口乗合タクシーが運行していたこともあり、1ヶ月平均71人と、こちらも利用は低調でした。平成28年度は加賀市医療センターが開院したこともあり、昨年度比3倍弱の伸びでした。エリア①は1ヶ月平均444人、エリア②は75人。エリア③は勅使・東谷口乗合タクシーの運行が終了したこともあり、353人でした。今年度の1ヶ月平均の利用者は、エリア①は459人、エリア②は230人、エリア③は403人です。

会長

KAGAあんしんネットの利用状況についてでした。路線バスは利用者が増加、横ばい、減少している路線がそれぞれあり、その原因も分かりました。キャンパスは高校生のニーズに合わせて、運用を見直したとのことでした。「のりあい号」は、運行開始から年々利用が増加しているとのことでした。

それでは、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

委員

平成27年度は、橋立地区乗合タクシーの利用者が「のりあい号」に移行したこともありエリア

①の利用が多く、平成 28 年度は、勅使・東谷口乗合タクシーの運行終了を受けてエリア③の利用が伸びました。今年度に入り、エリア②の利用が増加しているようで良かったと思います。周知には年月がかかりますが、エリア②でも少しずつ浸透してきたようなので、今後が楽しみです。時間をかけて利用者を増やしていただければと思います。

会長

利用促進により利用が伸びたことが分かるような、普及曲線があると良いと思います。それにより、新しい課題が見えてくるかもしれません。今年度に入り、エリア②の利用が伸びたことで、成長が成熟して来ています。今後は、成熟後の施策を考えていくことになると思います。

委員

「のりあい号」のエリア②の利用が伸びているとのことでしたが、路線バスも温泉片山津線が伸びており、公共交通の利用者が増えていると思います。どのような年齢層の方が利用しているのですか？

事務局

温泉片山津線については増便しており、便数が増えると利用者も増える全国的にも珍しい路線です。利用の中心は高齢者です。片山津方面の商店が減っているため、加賀温泉駅前のショッピングセンターでの買い物利用が多いと思います。通学利用については、小松方面の高校へ行くための利用は多少あるかもしれませんが、大聖寺方面の高校へはキャンパス動橋・橋立循環線が使われているため、ほとんどありません。

「のりあい号」については、町単位での説明会の開催等、周知活動の成果が出始めているかと思えます。

会長

加賀市の公共交通のスローガンには、「乗り合い」、「助け合い」、「出会い」、「愛し合い」があったと思います。高校生や高齢者の移動手段として、助け合いながら乗り合う、と言うことを発信すると良いと思います。

【報告(2) これまでの利用促進について】

会長

それでは、報告の 2 番目、「これまでの利用促進について」です。

事務局より説明をお願いします。

事務局

資料は 3 ページです。

まず、路線バスの利用促進についてです。年度初めに、時刻表を全戸配布していますが、大聖寺高校、大聖寺実業高校、加賀高校の新生へも時刻表とエコ通学のススメを配布しました。キャンパス動橋・橋立循環線については、8 月以降の 3 便体制の継続が決定したことを受けて、大聖寺高校と大聖寺実業高校の生徒に再度、時刻表を配布しました。また、小学生に路線バスを身

近な移動手段として親しんでもらうため、バス路線がある小学校を対象に、バス教室を実施しています。今年は、庄小学校の3年生を対象に7月と10月に協議会事業として実施しました。7月は、バスを止めた状態で、車イスでの乗車を含めたバスへの乗り方や回数券、降車ボタンについて学びました。10月は走行中のバスへ乗車したいとの意見を受けて、路線バスに乗って身近なお店に出かける体験をしました。

続きまして、「のりあい号」についてです。市の福祉部局において、「地域型元気はつらつ塾」というものを開催しているので、これに出向き「のりあい号」の利用方法等を説明しました。今年度は、11箇所合計190名の方に説明させていただきました。11月7日には、市をあげた高齢者のイベントである「いきいき大集合」に説明ブースを設けて、参加者へパンフレットの配布や利用方法等の説明をしました。また、昨年度より「のりあい号利用者の会」を実施しています。利用者目線での意見を伺い、今後の利用促進に活かすことを目的として、比較的利用の多い方に参加いただいております。今年度は、10月25日にアビオシティ加賀で実施しました。欠席者が数名いましたが7名の利用者に参加いただき、加賀第一交通所長及び元勅使・東谷口乗合タクシー運行協議会事務局長にもオブザーバーとして出席していただきました。利用者からは、定期券のようなものがあれば便利、購入場所は車内が良い。500円の乗車料金が高く感じられるため、乗車料金を引き下げて欲しい。個人医院が多い大聖寺がエリア①に属しているため、大聖寺へも共通エリアのように直接行きたい。運転手に乗車の度に踏み台を出してもらっているため、電動式補助ステップを導入して欲しいとの意見が出ました。また、高齢者の交通事故等がニュースでも取り上げられていますが、免許返納促進のため、返納者へ「のりあい号」のお試し乗車券を配布しています。

利用促進に取り組んではいますが、利用の増加が頭打ちになりつつありますので、今後の利用促進について、皆さまからご意見をいただけたらと思います。

会長

これまでの利用促進について説明していただきました。路線バスについては時刻表の配布やバス教室の実施、「のりあい号」については、高齢者の集まりの場での説明会の実施をしているとのことでした。

それでは、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

委員

バス教室ですが、参加児童が一番喜ぶ体験は、車イスでの乗車と講師を務めた従業員より伺っています。あまり見たことがない光景のようです。当社の車両はほとんどがノンステップバスなので、車イスのまま乗車できます。

また、車体にノンステップバスの表示がありますが、その隣に車イスのマーク、その上にお母さんが赤ちゃんを連れているマークがあります。これは、ベビーカーのまま乗車できるという意味です。今までは、ベビーカーを一度、折り畳む必要がありましたが、そのまま乗車し特定の場所にベビーカーを固定できるようにしました。お母さん方にも優しいバスと言うことをPRし、利用促進に結びつけていきたいと思っております。

会長

「路線バスふれあい体験教室」という名前が良いと思います。「乗り合い」、「ふれあい」、「助け合い」、「愛し合い」、「語り合い」。「合う」という単語を使うことで、加賀市ブランドの一つに育っていくと思います。「安心」を支えるのは、「ふれあい」や「助け合い」、「出会い」等のストーリーを作り発信することが、成熟段階から次の段階へのステップになるのではないかと思います。

委員

路線バスの車イス用スロープは、運転手に取り付けるのですか。

委員

収納されているものを引き出します。

5 議事

【議事(1) 「のりあい号」の今後の利用促進について】

会長

続いて、議事に入りたいと思います。議事の1番目は、「のりあい号」の今後の利用促進について」です。

事務局より説明をお願いします。

事務局

資料は、8ページです。

議事の1番目、「のりあい号」の今後の利用促進について」です。議事ではありますが、本日の会議で何かを決めるのではなく、事務局から利用促進について提案させていただき、これに対してご意見を、またそれ以外の案がありましたらご提案いただきたいと思ひ議事とさせていただきます。

事務局としても、運行ダイヤや経路の見直しをしていますが、利用者数が伸び悩んでいます。平成29年度上半期利用者数は約600人です。特定少数の利用となっていますので、この600人を800人、1,000人に広げることで、利用を伸ばしていきたいと思ひます。

まず、乗車券の見直しについてです。現在、1回券と2回券、そして1回分お得な11回券の3種類の乗車券を発行しています。平成29年度上半期の乗車券の販売状況ですが、2回券の販売が圧倒的に多くなっています。勅使・東谷口乗合タクシー利用者からも、1,000円で購入できる乗車券が最も利便性が高いと伺っていましたので、これと同じ状況かと思ひます。平成29年度は、約6,870枚の乗車券が購入されました。これを600人の利用者で割ると、1人当たり半年で12枚購入していることになり、1ヶ月当たりでは2枚、つまり1ヶ月に1往復していることとなります。この利用頻度から、2回券では毎月利用者に乗車券購入の手間をかけることとなっており、11回券では枚数が多すぎるため一時的な通院や外出に対応できていないと考えられます。これを踏まえ、間の6回券を導入することで利便性の向上が図られないかと思ひています。利用者の会では定期券の導入に関する意見があり、事務局としてもその必要を感じていますが、その前段として6回券の導入を検討したいと思ひます。

続きまして、エリアの取扱いについてです。1つ目は、エリア①についてです。エリア①は錦

城中学校と橋立中学校校下で、面積的に広く、橋立地区から三木・三谷・大聖寺地区を回り加賀温泉駅へ向かう運行経路です。地区で乗合タクシーを運行していた橋立地区や、大聖寺地区の中のバス路線から離れている地域、三谷地区の利用が多いです。これに対してエリア②は利用が伸びて来てはいますが、エリア①と比較するとまだまだ少ない状況です。これを踏まえて、エリア①とエリア②を1つのエリアとし、車両を2台体制にすることで橋立地区の方が、短い乗車時間で加賀温泉駅周辺へ行くことができないかと考えています。

2つ目は、共通エリアについてです。今年7月に国道8号線沿いにホームセンターヤマキシがオープンし、利用者からここへ行きたいとの声を聞いています。しかし、ヤマキシはエリア③にあるため、エリア①とエリア②の方は加賀温泉駅での乗継ぎが必要になります。国道8号線沿いには、マルエー加茂店やカーマ等もあり、今後も拡幅に伴い商業施設が増えることが想定されます。また、大聖寺には多くの個人医院がありエリア②とエリア③から乗継ぎなしでいけないかとの声も聞いています。これを踏まえ、共通エリアに国道8号線沿いと大聖寺を追加し、海側と山側の2エリアに分けて運行をできないか検討しています。

会長

今後の「のりあい号」の利用促進として、乗車券とエリアの見直しについてでした。本日の会議は皆さまから意見をいただく場としたいと思いますので、ご意見やご質問等があればお願いします。

勅使・東谷口乗合タクシーでは、乗車券はどのようにしていたのですか？

委員

利用者から、千円札を持って出かけることに抵抗はないが、3,000円以上になると抵抗があると聞いたので、500円券を2枚セットとし、1,000円で販売していました。お釣りが出ないのも利点でした。複数枚まとめて購入すると紛失してしまうこともあったようです。頻繁に利用する方からは、10枚セットの回数券が欲しいとの声がありましたが、新たな種類の回数券を作るには費用もかかりますので、2枚セットを5回買うと1セットおまけで貰えるとして回数券代わりにしていました。大体の方は月に数回、それ以外の方は毎日のように利用しますので、利用回数は極端に分かれていました。11回券を買える方は多くないので、2回券が最も売れているのも納得できます。高頻度で利用する方の金銭的負担を減らす検討も必要かと思えます。

事務局

想定以上に11回券の売れ行きが良くないと思っています。加賀市医療センターが開院し、2週間に1度の定期通院と言うことで1人当たり月4回程の利用を見込んでいました。どのような乗車券が良いのかは、いただいた意見も踏まえて検討して行きたいと思っています。

会長

6回券を導入した場合は、11回券も継続して販売しますか？

事務局

継続して販売します。

委員

観光業に携わっていると、ICカードを使用できないかとの問い合わせが多いです。キャンパスの乗車券には、1日券と2日券がありますが、北陸新幹線金沢開業時にこのままの形態で良いのかと考えました。コンビニでもICカードが使える時代ですので、ICカードが使用できないことで利用者に不便をかけています。山中温泉や大聖寺の商店街には、共通で利用できるポイントカードがあります。これで「のりあい号」に乗車できるような仕組みができないかと思います。北陸新幹線の延伸を一つの節目として、加賀市の交通体系も時代に対応していくべきではないかと思えます。

委員

もし定期券を導入する場合、「のりあい号」は路線バスが運行している地域でも運行していますので、バスの定期券の料金も配慮する必要があると思います。また、利用頻度が利用者によって極端に違うとのことですが、月数回程度の利用の方は、「のりあい号」以外にはどのような交通手段を使っているのですか？自家用車ですか？免許返納後、自家用車から公共交通に急に転換するのは難しいと聞きます。月に数回しか「のりあい号」を利用しないと言うことは、不便さがあるからだと思えます。路線バスよりもバス停まで歩く距離が少なくて済みますが、その一方で、何か不便さがあるのではと思えます。

本日は、第一交通の方も出席していますので、先ほどICカードが話題に上がっていましたが、その全国的な事例や、現在、検討していることがあれば教えてください。

随員

公共交通の受け皿として、全国で20路線ほど乗合タクシー事業を行っています。過疎地でのジャンボタクシーによる運行や、予算的制限から小型タクシーによるデマンド式での運行等を行っています。地域により運行形態は様々ですが、利用者に感謝していただくことを基本に運行しています。また、行政から補助を受けていますが、運行を継続するために、出来る限り費用削減に取り組まなければいけません。先ほどご提案いただいたICカードについても、費用面から事業者単独での導入は難しく行政の補助が必要です。電動式補助ステップについても、車種が限られており費用面から新規購入が難しいです。

乗合タクシー事業の運行継続には、地域内での周知が最も大切だと思います。月に1度しか利用しないという方もいますが、まだ利用されていない方に利用してもらうことが重要だと思います。お試し乗車のためにテスト走行を試みるなど、一度乗車していただく機会を提供することが必要だと思います。全車両が満車と言うわけではないので、空き時間を利用したお試し乗車も利用促進の一つになるかと思えます。また、高齢者にはホームページ上の情報は伝わりにくいため、回覧板等を使いながら周知することも必要だと思います。

当社では、従業員の募集に力を入れています。若者や女性、定年退職後の方を中心に求人活動を行っています。できる限り募集広告にはアクセスコードやQRコードを記載しています。また、掲示板等も活用しています。乗合タクシー事業についても、このように情報を発信できないかと思っています。

会長

システムの導入に当たっては、まず、きめ細かいニーズの調査が必要なのではないかと感じました。

エリアの見直しについて、何かご意見やご質問等があればお願いいたします。

委員

「のりあい号」を月に数回しか利用しない方の他の移動手段についてですが、私が住んでいる地域は農家が多く、農作業があるため、月に1度の通院に合わせて買い物も済ませてしまいます。農家でない方は、外出の回数が多いです。

「のりあい号利用者の会」に出席した際に、利用したことがない方は予約をすることに抵抗があると感じました。通常のタクシーでも予約は必要ですが、バスなら予約は必要ないと考え、一方でバスが「のりあい号」と比べ停留所が少ないことは忘れていました。食わず嫌いの方が多いので、一人ずつ説得していく必要があると思います。利用者は予約について、全く不便さを感じていません。利用者は、各町に停留地点があり、目的地の前で降りられる、「のりあい号」の便利さについてよく知っていますが、利用しない方は、まず不便な点が思い浮かぶようです。ここにPRのポイントがあると思います。

委員

予約をすることに不安を感じている方もいるのかと思いますので、予約オペレーターに余裕があれば、まずは、お互い友達になるつもりで電話をして、良いイメージを持ってもらうのも良いのかと思います。

会長

運用を変えるのは時間がかかるので、このような取り組みも良いと思います。

【議事(2) キャンバスの運賃割引に関する変更について】

会長

それでは、議事の2番目、「キャンバスの運賃割引に関する変更について」です。
事務局より説明をお願いします。

事務局

資料は10ページです。

キャンバスでは、1日券と2日券を発行していますが、現在、身体障害者手帳の交付を受けている方のみ運賃割引の対象となっています。これに精神障害者保健福祉手帳と療育手帳の交付を受けている方を追加する改正を進めたいと思います。補足があれば、運行企画事業者のまちづくり加賀からお願いします。

委員

現在のパンフレットには、身体障害者手帳の交付を受けている方のみ記載となっていますが、今後は、精神障害者保健福祉手帳と療育手帳の交付を受けている方についても記載したいと思い

ます。またホームページにも記載したいと思います。1月1日から変更したいと思います。

会長

キャンバス1日券と2日券の割引となる区分を新たに追加したいとのことでした。

委員の皆さまからのご質問やご意見などはございますか。

それでは、「キャンバスの運賃割引に関する変更について」はこれで承認することよろしいですか。特に異議はないようですので承認することとします。

6 その他

会長

続きまして、その他案件として事務局より報告がありましたらお願いします。

事務局

前回会議でも話題にあがりましたが、新幹線工事に伴い、在来線駅舎が仮駅舎になっています。仮駅舎の整備により生じた問題について、その改善策を講じさせていただきましたので、建設部新幹線対策室長より報告させていただきます。

新幹線対策室長

資料は11ページです。

仮駅舎の営業が5月23日に開始しました。従来駅舎より南側に出たことにより、利用者の導線が変わっています。変更箇所は、資料の赤枠部分です。従来タクシー降り場は、仮駅舎から一番遠いアビオシティ百撰街側の緑枠付近でした。仮駅舎から遠いという意見を受けて、10月1日より仮駅舎から一番近い所に変更しています。これに合わせて、一般車の乗降場をタクシーの降り場と入れ替えました。また、「のりあい号」の乗降場も、少し左側に移動しています。一般車と業務用車両を分けるために、一般車を右側、業務用車両を左と中央部分に寄せています。

その他の変更として、7月下旬に歩行者用通路を設置しています。場所は、緑の塗りつぶしの箇所です。従来は、市営駐車場でしたがその一部を歩行者通路に変更しています。また、団体客のお出迎いの待合所として、仮駅舎を出た正面の所に屋根を設置する予定です。

駅利用者の方々にはご迷惑とご不便をお掛けしています。また交通事業者の方々にはご協力いただいております。この場を借りてお礼を申し上げます。

会長

仮駅舎周辺整備については、前回会議で、石川ハイタク連合会の委員からご意見をいただきましたが、ご意見やご質問はいかがでしょうか。

委員

新幹線駅舎の完成後は、この配置から変わりますか？

新幹線対策室長

新幹線工事にあわせて配置が変わることになるので、新幹線駅舎が完成した際は、改めて変わ

ります。

委員

金沢駅のタクシー乗降場は、安全上、一般車と分けられています。基本的に、乗り場の後ろに降り場があります。加賀市においては、タクシー乗務員の意見を聞き、仮駅舎から一番近い所を降り場にしたいと思いますが、今後、変更する機会があれば、安全面からタクシーと一般車を分けていただけたらと思います。電車の出発時間に間に合わないためタクシーを利用される方が多いので、駅舎から一番近い所に乗降場があると良いと思います。今回は、そこに降り場を設けていただき、ありがとうございます。

私は、高校時代、山代温泉から大聖寺へ行くために混雑したバスに乗車していました。それが大変だったので、先ほどの報告等を聞き、現在は便利になっているようで嬉しく思っています。

会長

新幹線駅舎が完成した際の配置の構想はできていますか？

新幹線対策室長

できています。一般車とバスは別々のエリアに分けています。資料上のタクシーと一般車の駐車場部分にバスロータリーができる配置計画となっています。タクシーについては、現在のバスロータリー付近にタクシー乗り場ができる予定です。

会長

構想の段階で、キャンバスや路線バスの意見も聞き、全体の導線が魅力的になれば良いと思います。

委員

国土交通省では路線バスへ補助金を出していることから、生産性の向上を重視しています。温泉山中線をメインの路線と考えており、利用率の減少を非常に危惧していますので、利用促進に取り組んで欲しいと思います。もしバス事業者からも利用促進に関する提案がありましたら、それに対して委員の皆さまからご意見をいただけるような機会を設けて欲しいと思います。その際は、北陸新幹線延伸を受けて、観光面からの利用促進もご紹介いただければ有り難いです。

会長

「のりあい号」の利用促進は討議されましたが、路線バスとキャンバスの討議はあまりありませんでした。それぞれが魅力的な資産を持っていることが加賀市の特色なので、これを繋ぐストーリーが加賀市らしさになると思います。専門の方々が検討されていると思いますが、そのイメージが駅舎等にどう反映されているかについて、市民の意見も吸い上げることで、長期的なイメージが見えてくるとと思います。それに対してできることをしながら近づくことが、加賀市らしさだと思います。また、長期的な構想を図面だけでなく、写真でも示していただけるとイメージがしやすいと思います。加賀市の魅力や能登と福井との違いをストーリーとして、ハード面でも見ると良いと思います。

それでは、他に事務局からありますか。

事務局

大聖寺警察署からの委員より交通事故防止について、皆さまへお願いがあると伺っていますので、お願いします。

委員

(運転免許証自主返納者数の推移の説明や、福祉車両等運転中の交通事故防止についてのお願いがあった。)

会長

委員の皆さまからのご質問、ご意見等はいかがでしょう。
最後に副市長より一言お願いします。

副市長

本日は、お忙しい中、活発な議論をいただきありがとうございます。事務局から様々な利用促進等を報告と提案をさせていただきました。「のりあい号」の利用料金が低いのではないかとのご意見もありますので、可能であれば新たな回数券や定期券の導入を来年度の予算編成に向けて、検討していきたいと思えます。また、免許返納については、公共交通機関が整備されていないと進まないのでは、是非、皆さまの熱心な議論をいただきたいと思えます。ありがとうございました。

会長

ありがとうございました。それでは、進行を事務局に戻したいと思えます。

7 閉会

事務局

長時間に渡り、ご審議ありがとうございました。
本日の会議はこれをもって終了いたします。